

標 題	メロン貯蔵試験の中間結果を検討		機関名	東予地方局産地戦略推進室
年月日	令和5年12月25日	場所	J A周桑	
指導対象		連携機関	J A周桑、MA包装資材取扱い事業者	
普及指導内容	<p>○当室とJ A周桑、MA包装資材取扱い事業者が参集し、MA包装資材を利用し冷蔵貯蔵した秋作メロンの外観・食味を評価した。</p> <p>○MA包装資材「X t e n d」で包装したアムスメロンを11月9日から35日間、2℃で冷蔵保存した後、包装を取り除き10日間室温で保存し、外観と食味を評価。年末の商材として販売が可能かを検討した。</p>			
結果と今後	<p>○冷蔵庫出庫時にはなかったが、室温での保存後、外観の劣化（へこみや尻部の変色など）が見られた。</p> <p>○一方、食味は良いことから、冷蔵庫出庫後の果実表面の劣化を防ぐことができれば、年末の商品として有利販売ができる可能性があると評価。</p> <p>○今後、冷蔵を60日行ったメロンの外観と食味の評価を1月下旬に行う予定。</p>			
	 <p>関係者による果実の評価</p>	 <p>果肉の状態</p>	<p>【MA包装資材】 透明の袋。果実の鮮度保持に適した低酸素、高二酸化炭素状態に保つ資材。</p>	
担当者	担当係長 越智 英直			